

## 千葉県の実施結果

訓練の目的	本訓練は、県や市、各防災機関が連携した救出救助や、自主防災組織を中心とした避難所運営などの実践的な訓練のほか、減災への備えや発災時の心得などを啓発する場を設け、自助・共助・公助の相互の繋がりを強化し、地域の防災力を向上することを目的とする。
日時	1 令和2年10月27日（火） 2 令和2年10月31日（土）、11月1日（日） 3 令和2年11月1日（日）
会場	1 野田市営福田体育館、野田市福田公民館 2 千葉県庁、野田市役所、葛南地域防災備蓄倉庫、西部防災センター防災備蓄倉庫、野田市文化会館（野田市文化センター） 3 野田市総合福祉会館（野田市中央公民館）敷地内 他
規模	参加機関（団体）16（29）機関 参加人員 延べ186名
想定地震	野田隆起帯を震源とするM7.0の大地震が発生し、野田市では震度6強を観測するとともに、強い揺れによる建物倒壊や液状化による道路損壊等が多数発生、上下水道を含むライフライン機能も麻痺している。 この地震により約2万棟の家屋が被災、約3万7000人に及ぶ被災者は避難所での生活を余儀なくされる。
訓練項目	1 多数遺体取扱訓練 遺体安置所の設営や検視、検案、身元確認及び遺族対応 2 物資輸送訓練 (1) 要請に基づく物資の払出し、受入れ訓練 (2) プッシュ型支援への対応訓練 3 災害ボランティアセンター設置運営訓練 (1) 被災地災害ボランティアセンターの設置・支援 (2) ボランティアの受入れ
訓練の特徴	本年度の千葉県会場訓練は、新型コロナウイルス感染症蔓延の状況に鑑み、市民、県民の健康を最優先とし、不特定多数の参観者が見込まれる主会場の訓練等の実施を見送るとともに、実施する訓練については、訓練内容を見直し、規模を縮小し実施しました。 1 多数遺体取扱訓練 (1) 遺体安置所の設営及び適切な対応に関する講義の実施 (2) 遺体安置所、検視・検案所設置訓練及び遺族対応訓練の実施 2 物資輸送訓練 (1) 千葉県からのプッシュ型支援実施訓練（図上訓練） (2) 被災地からの要請に基づくプル型支援実施訓練（図上訓練） (3) 被災地からの要請に基づき、県防災備蓄倉庫から支援物資の払出し及び被災地における受入れ訓練の実施（実動訓練） (4) 九都県市からの支援物資受入れ訓練の実施（実動訓練） 3 災害ボランティアセンター設置運営訓練 (1) 被災地ボランティアセンターの設置及び、ボランティアの受入れ対応訓練の実施 (2) 千葉県災害ボランティアセンターとの情報伝達訓練の実施（コロナ禍における対応を想定し、オンラインツールを利用した訓練）

<p>参加機関</p>	<p>【主催機関】 千葉県、野田市、(公財)千葉県消防協会</p> <p>【県の機関】 葛南地域振興事務所、東葛飾地域振興事務所、西部防災センター</p> <p>【警察機関】 千葉県警察本部、野田警察署</p> <p>【指定地方公共機関】 (一社)千葉県トラック協会</p> <p>【参加団体等】 国際医療福祉大学医学部、(一社)日本DMORT、野田市歯科医師会、陸上自衛隊高射学校、(公社)隊友会千葉県隊友会、(社福)野田市社会福祉協議会、千葉県災害ボランティアセンター連絡会</p> <p>(公財)千葉県民生委員児童委員協議会、(NPO)千葉レスキューサポートバイク、(公財)SL災害ボランティアネットワーク、千葉県生活協同組合連合会、日本労働組合総連合会千葉県連合会、(公社)日本青年会議所関東地区千葉ブロック協議会、(一社)千葉県社会福祉士会、(NPO)ちば市民活動・市民事業サポートクラブ、千葉県健康福祉指導課、千葉県県民生活・文化課、日本赤十字社千葉県支部、(社福)千葉県社会福祉協議会、にいがた災害ボランティアネットワーク</p> <p>【九都県市広域応援協定自治体】 埼玉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市</p>
<p>協力機関</p>	<p>野田市宮福田体育館、野田市福田公民館、野田市文化会館(野田市文化センター)、アイコム(株)</p>